

赤岩かわら版

～遅れてゴメン号～

発行責任:赤岩をこよなく愛する会

どうも、お疲れさまでした。

8月25・26日の2日間、赤岩独自の地域づくりを考えるイベント「シルクカントリー in 赤岩」が開催されました。村内外から連日 120 名ほどの人たちが訪れ、〈おかいこの里〉の歴史と文化に触れる体験をしました。

「世界遺産へ 赤岩の地域づくり」と題したシンポジウムでは、基調講演で川村恒明氏(元文化庁長官)が、「世界遺産登録がゴールではない。それを未来にどう生かすかが大事」と力説。作家の森まゆみさんや清水慶一主幹(国立科学博物館)らパネリストは、「普通の人々の普通の暮らしが残っている」、「赤岩の良さは、『ここがいい』と言えないところ。すべてがいい」と口々にその魅力を語りました。

地区を挙げて取組んだイベント。食部会の「とうじうどん」、田舎料理のなつかしさを求めて長い列が続いていた。昭和二桁会の農産物直売では、冷やしトマトに人気集中。おいしそうにほおぼる姿が印象的だった。初めてガイドをする人も落ち着いて、堂々としていたと評判だった。

今回のイベントで得たものを、これからの赤岩の将来設計に役立てていきたい。

それには、住民の共通理解がぜひとも必要です。



■ 来訪者情報

- | | |
|---|-----------------------------|
| 9/11(火) 渋川市子持地区生涯学習クラブ(20名) | 9/13(木) 吾妻郡内食生活改善推進委員(150名) |
| 9/14(金) 群馬の絹活性化委員会(20名) | 9/15(土) 沼田学舎の会(15名) |
| 9/26(水) 甘楽町教育委員会(26名) | 9/30(日) 伊勢崎市生涯学習推進委員会(12名) |
| 10/2(火) 成田様(11名) | 10/6(土) 県民局サテライトツアー(45名) |
| 10/24(水) 吾妻東部3カ町村連携講座(50名) / 県連続講演会及び現地見学会(40名) | |
| 10/28(日) 県民モニター・バスツアー(20名) | |

■ 編集後記

記録的な猛暑が続いた今夏。なかなかやる気が起こらない。イベントでは、初めての経験で試行錯誤の繰り返しだったが、終わってみれば、充実感が体中に伝わってきた。それは、「イベントが終わってホッとした」のではなく、「人の温かさにふれてホッとした」という実感だった。まさに、赤岩の心のおもてなし。(W ゆ)